

あさくち

No.
67

議会だより

令和7年 **2025**
11月1日発行

トピックス

- ・ 倉敷市玉島昭和水門の適正な維持管理に関する意見書を可決 P3
- ・ 歩行者の安全確保に関する決議を可決 P3



あさくち議会 🔍

Contents

- P2 9月定例会
- P4 委員会レポート
- P7 市政を問う! 一般質問



鴨中
ソフトテニス部女子



鴨中
バスケットボール部男子



鴨中
吹奏楽部



鴨中
美術部

令和7年度 一般会計補正予算

2億4,395万円

の増額補正予算を可決

総額は192億50万円
(対前年度比9.9%増)

議会が注目する事業



西部衛生施設組合負担金

浅口市、笠岡市、井原市、矢掛町及び里庄町で運営する燃物・粗大ごみ処理場、し尿処理場、廃棄物埋立処分場等の負担金。

6,372万円

金光駅西公園整備事業

金光駅西公園の基本方針に沿った再整備計画を策定するため、拡張エリアを含む公園全体の基本設計、実施設計、現地測量等を行う。



683万円

こだがわ
小田川都市下水路改修事業

昨年7月の豪雨により被災した小田川都市下水路の改修工事を行う。



6,256万円

寄島中学校跡地利活用補助金

寄島中学校跡地利活用の実施事業者である一般社団法人ファジアーノ岡山スポーツクラブに対し、施設整備に係る費用として企業版ふるさと寄附金を原資とした補助金を交付する。



6,910万円

各議員の判断はいかに!?

議案審議



参加議員

妹尾 斎藤 竹本 早苗 沖原 山下 石井 藤井 伊澤 佐藤 加藤 桑野 藤澤 香取 井上
義信 貴士 寛 有美 周吾 由紀子 立子 誠 正人 淳二 和夫 良勝 邦男

議長

※議長は採決に加わりません。

発議

可決

倉敷市玉島昭和水門の適正な維持管理に関する意見書

提案理由

令和7年8月、倉敷市玉島昭和水門のゲートに設置された水密ゴムの損傷が確認され、海水が里見川に流入していた事実が明らかとなった。昭和水門は、浅口市を含む流域住民の安全を守り、農業生産と生活環境を維持するために不可欠な施設であるため、地域住民の生命と財産を守る観点から、岡山県に対し速やかな対応を強く求め、適切な維持管理体制の構築を強く要望する。

※産業建設常任委員会からの提出

発議

可決

歩行者の安全確保に関する決議

提案理由

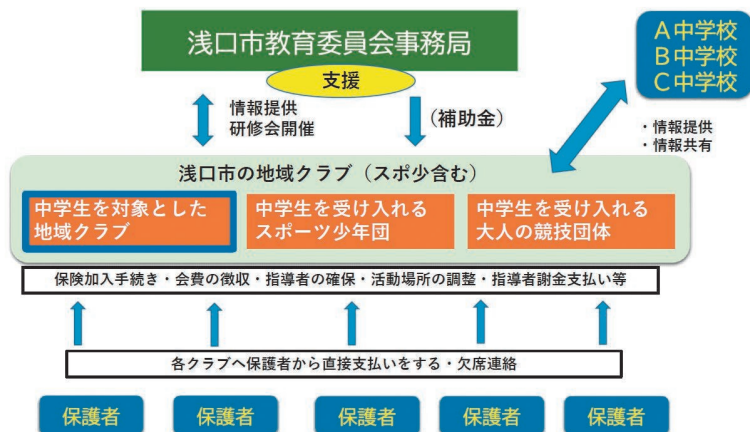
令和7年9月、夜間に浅口市近郊で交通死亡事故が相次いで発生した。歩行者の交通安全を推進するためには、議会・行政・市民がそれぞれの役割を果たしつつ、一体となって取り組むことが不可欠であるため、市に総合的かつ計画的に交通安全対策を推進し、地域全体と力を合わせて交通安全文化を長く育み、次世代に継承していくことを強く求める。

提出者：山下議員 賛成者：妹尾議員、早苗議員、桑野議員、斎藤議員、石井議員、佐藤議員

今回の議案は出席議員が **すべて賛成** でした



発議	倉敷市玉島昭和水門の適正な維持管理に関する意見書	補正予算	令和7年度一般会計補正予算(第2号)
	歩行者の安全確保に関する決議		令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
承認	専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)4件		令和7年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
同意	農業委員会委員の任命同意		令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)
条例	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正	その他	財産の取得
	給水条例の一部改正		過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更
	公共下水道条例の一部改正	諮問	人権擁護委員の推薦意見



定例会

委員会レポート

市政を問う！
一般質問

部活動の地域展開（移行）について

少子化や、教職員の働き方改革の推進により、中学校部活動の地域移行が検討されている。

市ではこれまで部活動指導員の任用や、合同部活動の実施等を進めてきた。令和6年度には県の実証事業を受け、陸上競技等4つの地域クラブの立ち上げを試行的に実施した。7年度は未着手の部活動への働きかけや、新たな地域クラブの立ち上げの準備とテスト実施を進めていく。そして、8年度は新チーム発足時を目的に、休日は部活動としての活動ではなく、立ち上げができた地域クラブでの活動を予定している。

組織については、中学生を対象とした地域クラブ、中学生を受け入れるスポーツ少年団、中学生を受け入れる大人の競技団体の3種類の団体を想定している。

一番の課題は指導者の確保であり、そのほか練習場所の確保や、部活動との連携などがある。

Q 来年度何種類の地域クラブができそうか。

A 確実なことは言えないが、実証事業を実施した女子テニスと、陸上競技は意欲を示している。今後環境等を順次説明する。

Q 地域クラブとしてスポーツ少年団や大人の競技団体を想定しているが、それらの団体と協議は始まっているか。

A スポーツ少年団に相談はしているが、実施は難しいというところでは止まっている。部活動地域移行検討委員会の中で相談をしたい。

Q 市制施行20周年記念事業について
令和8年2月22日(日)に20周年記念式典の開催を中央公民館で予定している。内容はオープニングセレモニー、表彰、市民憲章の唱和などで、今後、式典の詳細や周年記念事業などを検討していく。
(8月5日開催)

財産の取得について
令和2年度に導入した小中義務教育学校用のノート型学習端末（タブレット）が更新時期になったため、2405台及び付属品を購入する。

Q 契約方法を随意契約としている理由。

A 国からの補助を受けるには、県が実施する共同調達に参加することが条件となっている。市も県による共同調達に参加しており、これが競争入札に適さない

理由となり随意契約としている。

浅口市過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更

寄島東公民館のトイレを改修するため、事業計画に公民館改修事業を追加する。この計画変更によって、充当率が対象事業費の100%、元利償還金の70%が交付税措置される過疎対策事業債の活用が可能となる。

Q 過疎対策事業債はいつまで活用できるか。

A 令和3年4月に過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が制定されたため、あと5年は活用が可能。
(9月11日開催)

総務文教

委員長	斎藤 貴士
副委員長	桑野 和夫
委員	伊澤 誠
	佐藤 正人
	加藤 淳二



健康福祉センター低層棟



リサイクル、リユース事業について

市民1人1日あたりのごみ排出量は、第2次一般廃棄物処理基本計画に定める令和10年度の目標値913グラムに対し、5年度実績は855グラムであり、現状では目標を達成している。

ごみの減量化・資源化の取組では、リサイクル率が、目標値に達していない状況で、資源ごみ回収団体への補助金制度や、生ごみ処理機購入に対する補助金制度などを実施し、リサイクル率の向上に努めている。

また、資源ごみの再利用状況については、缶類は缶や自動車部品などに、ペットボトルは新たなペットボトルや衣類などに再利用されるなど、廃棄物再生事業者を通じて貴重な資源として有効活用されている。

おくやみ窓口の開始について

死亡に伴う市役所での手続きに係る負担を少しでも軽減できるよう、9月から市民課・両総合支所でおくやみ窓口を開始する。

来庁日時オンライン予約制度を導入し、窓口での待ち時間や手続時間の短縮を目指している。各種手続きをできるだけ1つの窓口で行えるよう、個人に合わせた書類を準備し

たり、遠隔相談窓口を通じ他部署の届出も案内する。

Q 出産の手続きについても同様の取組をお願いしたい。

A 市民のサービス向上になるものについては取組む必要があると考える。

健康福祉センター低層棟の利用開始について

8月1日にオープンし、大型紙芝居のイベントでは子どもたちに楽しんでもらえた。利用者からの意見や要望を聞きながら、今後の運営管理に役立てていく。

Q 支援員を2人募集していたと思うが、応募はあったか。

A 応募があり、採用している。実際には3人体制で運営している。（8月6日開催）

一般会計補正予算

Q 新型コロナウイルス予防接種の副反応により、健康被害にあった方への給付金を計上しているが、何人いるのか。

A 国・県に報告しているのは8人で、今回の補正は2人分を計上している。

おくやみ窓口について

9月からおくやみ窓口を開始した。窓口の予約枠は3枠の予定であったが、4枠で実施している。また、9月1日から9月10日までに16件の利用があった。

ごみ分別アプリについて

9月からごみ分別アプリを配信しており、ホームページや広報紙にインストールの方法を掲載している。このスマホアプリは、ごみの分け方・出し方の検索や、収集日のカレンダーを確認することができる。

（9月12日開催）

民生

委員長	沖原 有美
副委員長	妹尾 義信
委員	早苗 ネネ
	藤井 立子
	井上 邦男



公園整備（金光駅西公園・丸山公園）について

金光駅西公園・丸山公園は都市公園に位置づけられており、都市公園の整備方針は、市の関連計画に基づいている。今後、金光駅西公園については、若年層が増加している地区であり、作成中の立地適正化計画においても都市機能等の誘導区域に位置することから、拡張・再整備する。丸山公園については、著しく老朽化が進んでいることから、長寿命化計画を策定し、優先整備施設の更新を行う。

Q 整備にあたり、補助金の検討は、

A さまざまな補助メニューの中から、要件を満たす事業を探している。用地買収については、使役できる補助メニューはない。

空き家対策の現状と今後の方向性について

本市では、平成30年3月に「浅口市空家等対策計画」を策定、令和5年3月に改定し、空き家対策に取り組んでいる。今後は、同計画の計画期間である9年度まで、所有者の意識向上・有効活用・危険除去を柱とする空き家対策を進め、その後必要に応じて、空き家対策の方針変更について検討していく。

移住・定住促進と商工観光の連携について

第3期浅口市創生総合戦略において、交流人口・関係人口の増加を図ることを施策の基本的な方向としており、商工業の振興では、創業支援事業補助金の交付や、市内外のイベントでの特産品PR等に、関係団体と連携しながら取り組んでいる。

また、観光の振興では、188cm反射望遠鏡を使用した限定観望会等の観光事業の実施や、ホームページなどを活用した周知活動を行い、交流人口から関係人口へつなげていく取組を行っている。

（8月7日開催）

浅口市給水条例の一部を改正

現行では宅地内等の給水装置工事

は市の水道事業者が指定した事業者に限定する規定となっており、柔軟な対応ができない状況となっている。本改正で災害その他非常の場合に、他の市町村の水道事業者が指定した給水装置工事事業者による施工を可能とする規定を追加することで、災害時の事業者の広域的な確保や復旧工事を迅速かつ円滑に進める体制づくりを図る。

Q 市外の慣れない業者が入ってくることとなるが、市側はどのような形で対応するのか。

A 宅地内の話になるため、個人で選んでもらうことになる。市の指定業者以外の業者が入ったりスト等の情報を出す対応になる想定される。

一般会計補正予算

Q 阿部山分校敷地への観光用公衆用トイレはどのようなトイレか。

A 仮設トイレ2基の常設を考えている。

Q 分校のトイレは撤去するのか。

A 所管は教育委員会であり、調整をしながら取り組んでいるが、現在のところ、そのような話にはなっていない。

倉敷市玉島昭和水門の適正な維持管理に関する意見書（案）について

令和7年8月、県の調査により、昭和木門のゲートに設置された水密ゴムの損傷が確認された。海水が里見川に流入したことでレンコンや稲を中心に枯死等の農作物被害が発生し、高潮や水害の危険性も高まっている。

農業従事者をはじめ、流域住民に将来への不安を与える事態となっており、防災機能の保持が喫緊の課題となっているため、県に対し、速やかな対応と適切な維持管理体制を要望する意見書を委員会発議として本定例会に提出することとした。

（9月16日開催）

産業建設

委員長	竹本 寛
副委員長	山下 周吾
委員	石井由紀子
	藤澤 健
	香取 良勝



市政を問う！

一般質問

録画放送
配信中

9月定例会では、10人の議員が市の考えを聞きました。

質 問 者	質 問 項 目
香取 良勝	○合併特例債について ○小学生へのカバンの無償配布等について
斎藤 貴士	○身元引受人のいない人への支援について ○浅口市の子どもたちの学びの連続性について
佐藤 正人	○監査委員事務局について ○災害対策について
加藤 淳二	○公共施設等総合管理計画について ○通学路について
妹尾 義信	○防犯カメラの補助制度について ○下校時の安全性強化について ○放課後児童クラブの運営について ○本物に触れる機会について
桑野 和夫	○生活保護制度について ○マイナンバーカードとマイナ保険証について
山下 周吾	○カキ殻を使用したトイレの整備について ○地域公共交通について
冲原 有美	○南海トラフ巨大地震を想定した地震対策について ○香害（化学物質過敏症）について
石井由紀子	○公共施設（公共建築物）について ○各種手続きに関するDXについて ○浅口市のこどもたちに対する取組について ○令和6年度に浅口市議会から市長へ提出した提言書について
早苗 ネネ	○ネットリテラシーについて ○メディアリテラシーについて ○AI リテラシーについて



香取 良勝



合併特例債について

問 合併時の発行可能額はいくらか。また、発行可能残高はいくらか。

企財 国の算定式で算出した発行可能額は、163億5130万円。また、発行可能残高は、64億2140万円となる。

問 合併特例債が使えるのは令和7年度まで。発行可能残高はどうするのか。

企財 発行可能残高の64億円は合併特例債を利用できる上限の額であり、今後活用する予定はない。

問 合併した多くの自治体で合併特例債を活用し、駆け込みで新庁舎を建設している。合併特例債を使えば70%は国が負担してくれる。私から言わせれば、64億円を捨てたことと同じだ。なぜ新庁舎を建設しないのか。

市政を問う！ 一般質問

市長 計画性をもって予算の執行をしている。今、新庁舎を建設する予定はない。

小学生へのカバンの無償配布等について

問 中学生の制服を統一したのに、小学生のカバンはなぜ統一しないのか。

教育長 制服は、PTA等の代表で構成された制服検討委員会で協議し、決定された。また、カバンについては、PTA代表者との教育を語る会で意見を聞いているが、鴨方・寄島地域で黄色いカバンの無償配布を希望するという話はほとんどない。

問 カバンに関するアンケートは合併した時に実施しただけだ。物価高騰で市民は苦しんでいる。弱い市民を守るために市長になったのではないか。

市長 今まで小学校や園に出向きPTAの代表者と通学用力バンについて、いろいろな意見を聞いている。その結果として、ほとんどの方が現状の継続を希望されている。

身元引受人のいない人への支援について

問 高齢者独居世帯が増加している。市においてこれまでに引き取り手のない遺体があったか。

健福 2件あった。国の手引きを参考に、法に基づき火葬・埋葬した。

問 終活支援の取組は。

健福 県や医療機関と連携して取組を検討している。民法に基づく遺言などは法務局や公証役場を案内している。

市長 一人暮らしの高齢者が増えている中で、身寄りがない方も含めて安心して生活を送ることができるよう、情報提供や相談体制の充実に努めていく。

浅口市の子どもたちの学びの連続性について

問 5歳から小学校1年生までの2年間の「架け橋期」の重要性についてどのように考えて



斎藤 貴士



いるか。

教育長 学びや生活の基盤をつくるための重要な時期であると認識している。

問 市での取組は。

教育長 全園と全小学校の担当者が集まる機会を設け、共通理解を進めるとともに、カリキュラムの改善に取組んでいる。園と小学校、義務教育学校の双方で「生活・学び・関わり」の3分野において目指す子ども像を掲げ、目標と行動計画を策定している。

問 5歳児の豊かな経験が、1年生の学びや生活へ発展していく。充実した園の環境が必要だと考えるが、保育に従事している職員の数はどうか。

教育次 入園児数に対して必要な職員数は確保できている。さらなる保育の充実を図るため、保育士・保育教諭・看護師の募集を行っている。

市長 令和7年度に義務教育学校が開校するなど、学びの連続性につながる取組を先進的に推進してきた。今後も子どもの心身の発達や学習意欲の形成のため必要な基盤づくりに努めていく。



佐藤 正人



監査委員事務局について

問 令和3年9月定例会において同僚議員が「専任職員の配置と執務室を設けること」を質問した際、「市役所全体の体制の見直しの中で検討する」との答弁があったが、その後の動向は。

企財 監査委員事務局も含め、組織全体について各部署からの声を拾い上げ、適正で能率的な職員の配置や効率的な組織体制の構築等を検討してきた。現在のところ、人員配置や執務スペースの確保等から監査委員事務局の体制見直しには至っていない。

災害対策について

問 7月30日のカムチャツカ半島付近の地震対応と市の「避難情報」発令の判断は。

企財 津波注意報の発令を受け、いつでも避難指示を発令できる体制を維持し、自主避難所

を開設して環境を確保した。津波注意報の発令に基づく行動を周知した上で「避難指示」は発令しなかった。

問 マスコミ報道によると本市では「災害時に避難所のトイレ数が基準を満たしていない」とのアンケート結果が公表されているが現状と対策は。

企財 国の基準では、発災後初期段階では避難者数50人に1基のトイレ確保が明記されている。本市の必要数は74基であり、現時点では不足している。現在、市内のホームセンター4社と協定を結び、災害時において優先的な供給体制を構築している。

問 南海トラフ地震を想定した市の災害対策は。

市長 カムチャツカ半島付近の地震では、本市においても市民への情報提供や注意喚起のあり方について検証を行い、平時からの備えや対応力の向上がより一層求められていることを再確認した。防災備蓄品の確保や指定避難所の環境整備、円滑な避難行動の推進等を今後進めていきたい。

公共施設等総合管理計画について



加藤 淳二



問 鴨方公民館の今後の予定は。

教育次 昭和44年建築の建物であり、老朽化し現在の耐震基準を満たしていない。今後の施設の在り方については売却も含めてあらゆる可能性を検討していく。

問 プールの維持管理で、どういう方針を考えているのか。

教育次 鴨方中学校や金光竹小学校、寄島学園が利用しているB&G海洋センタープールだけでなく、他校との共同利用とか、里庄町に岡山県西部衛生施設組合が新たに整備している温水プールなども利用を検討する必要がある。

通学路について

問 台風やゲリラ豪雨などの気象災害の影響は、通学路の安全性に直結する問題と考える。通

学路におけるこのような災害時のリスクに対して、どのような対策を講じるのか。

市長 保護者や子どもたちとの座談会を毎年実施しており、各学区の危険箇所要望については、浅口市通学路等交通安全プログラムによる合同点検などを行い、担当課等において必要な対応を行っている。また、先日の座談会においても、草が伸びて交差点が非常に危ないという意見もあった。しっかりと、迅速に、できるだけ対応していきたい。

問 犬はリードを付けて散歩しないとイケない。しかし、夕方になったら放したりして非常に危ないことがある。市長が担当課にきちんと指示を出してもらいたい。

市長 この時代にそういう道理をわきまえない方、条例も規則もある中で、それを守らずにまだそういうことをしている方がいるなら、もちろん警察の方にも相談しなければならなし、市としても厳しく指導をしていきたい。



妹尾 義信



防犯カメラの補助制度について

問 防犯カメラの効果は。

企財 不審者による侵入や犯罪行為を思いとどまらせる抑止力や、敷地内だけでなく道路を撮影することによる地域の治安維持・向上に寄与する可能性がある。

問 補助制度創設の考えは。

企財 基本的に個人の私財が対象になるので現時点では考えていない。

下校時の安全性強化について

問 下校時に暑さ指数を基準にした対応はあるか。

教育次 指数を基準ではなく、暑さ対策としてネッククーラー等を使用してもらっている。

問 学校に冷凍庫を設置する考えは。

教育次 衛生面や運用方法など課題があるので、現時点では考えていないが、他の方法も含め考

えていきたい。

放課後児童クラブの運営について

問 支援員の時給は上げられないか。

教育次 各クラブの運営委員会で資格や経験年数などを考慮して決定している。市としては補助金算出にあたり1170円とし、毎年改定を行って対応している。

本物に触れる機会について

問 6月議会で教育長が言われた本物に触れる機会とはどのような内容か。

教育長 学校教育や公民館活動等を通じて、実体験による学びを提供するもの。具体的には、学校教育において、天文博物館や188cm反射望遠鏡等の見学、6年生を対象とした劇団四季の鑑賞などを行っている。公民館活動において、南極越冬観測隊の隊員の話を聞く機会や、今後、ファジアーノ岡山のプロ指導者によるサッカー教室の企画も検討中である。



桑野 和夫



生活保護制度について

問 厚労省が示した例外的な自動車保有の条件は。

健福 1.公共交通機関の利用が著しく困難な地域に居住する者等が、自動車により通勤する場合。2.公共交通機関の利用が著しく困難な地域にある勤務先に、自動車により通勤する場合。3.障がいがある方の場合。4.公共交通機関の利用が著しく困難な地域に居住する者が、定期的な通院等のために自動車を必要とする場合は保有を認めている。

問 通院移送費の取り扱いはどうなっているか。

健福 指定医療機関の意見を検討した上で給付の可否について決定をし、移送に必要な最低限度の額を支給している。

マイナンバーカードとマイナ保険証について

問 政府がマイナンバーカードとマイナ保険証への移行をこり押しし、ルール変更を重ねたことで制度が複雑になり、保険者に混乱を招いている。令和7年7月末で国民健康保険加入者の7割、後期高齢者医療制度加入者全員の健康保険証の有効期限が切れる。資格確認書の有効期限は、8年7月末までとなっている。その後はどうなるのか。

生環 マイナ保険証への移行は強制ではなく任意。今後の資格確認書の発行はまだ国から通知がきていない。

問 健康保険証の廃止をしなれば、制度が複雑にならなかった。従来の保険証の復活が必要なのではないか。

市長 このカードは、本人確認書類として各種の行政サービスを受けることができる。マイナ保険証は、適切な医療の受診や各種手続きの簡素化等が図られる。現在はマイナ保険証への移行期。国の動向を注視し、市で大きなトラブルがあれば国への要望を検討したい。



山下 周吾



カキ殻を使用したトイレの整備について

問 下水道の整備されていない公園施設はどれぐらいあるか。また、今後の整備は。

上下水 浅口市公共施設等総合管理計画に記載されている都市公園、一般公園及び公共建築物を対象として、公園は3か所、公共建築物は31か所が公共下水道による整備がされていない。

また、今後は公共下水道全体の計画に基づいて整備を進めていく。

問 カキ殻を使った浄化システムを備えたトイレを研究し、整備することは。

上下水 カキ殻を使用した浄化システムは既に商品化されたものが約30年前から全国で設置されている。この浄化システムを備えたトイレのメリットは、水を循環して使用し、水道など

の水源が不要なことなど。また、デメリットは、同等の処理能力の合併浄化槽に比べ、製品が割高となるなどである。

市長 公共施設のトイレは、現状における最適な排水を行っている。カキは市の特産品であり、カキ殻を活用した污水浄化システム導入は、SDGsの観点からよい提案である。

しかし、公共施設の污水处理の基本方針は、公共下水道と合併浄化槽で行うものと考えており、環境・観光・地域ブランド・防災の観点でカキ殻を利用する処理方法をトイレの水洗化に導入することは今は考えていない。今後の検討として、カキ殻を使用したトイレの水洗化事業を一つの選択肢として研究していく。

地域公共交通について

問 免許返納者に対しての施策は。

企財 既存のサービスを利用してもらい、今後も維持・確保に努めていく中、研究する。

市長 部署や事業所と連携し、さらなる充実に努めていく。

市政を問う！

一般質問



沖原 有美



南海トラフ巨大地震を想定した地震対策について

問 市はどのような被害を想定しているのか。

企財 最大震度は、市の中部及び沿岸部は震度6弱、そのほかの地域では震度5強が見込まれている。また、津波は最大津波高2・81メートル、津波到達時間は地震発生から252分後と推定されており、人的被害は、死者13人、負傷者191人が見込まれ、建物被害は全壊185棟、大規模半壊247棟、半壊248棟と想定されている。

問 寄島地域では津波発生時の避難場所として、竜南保育園と寄島東公民館の2つしかない。

津波発生時に対応できる避難場所を増やす考えは。

企財 2か所に加え、金光地域や鴨方地域の避難場所も、必要に応じて活用できる体制にし

ている。

問 実際に津波が発生すれば、海岸沿いの道は使えない。新たな避難道路を確保するために、農免道路と県道矢掛寄島線を接続して防災道路として活用してはどうか。

産建 道路整備事業には、多大な費用と期間が必要。提案のルートは、土砂災害警戒区域の指定を受けている箇所が複数あるため、避難道路としては適さないと考えている。

香害(化学物質過敏症)について

問 香害は洗剤や柔軟剤などの強い香りの成分によって、頭痛や吐き気などの健康被害のことを指す。市内の学校・園で体調不良となった事例はあるか。

教育次 過去2年間を調べたが、確認されなかった。

問 子どもから大人まで健康被害を引き起こす香害について、国が作成したポスターを活用して啓発してはどうか。

産建 国が周知や啓発をしている。市で困った場合は、消費生活センターに相談してほしい。



石井由紀子



公共施設（公共建築物）について

問 浅口市民1人当たりの公共施設の延べ床面積は。

企財 令和7年1月1日現在の住民基本台帳の人口で割ると約4・1㎡。県内15市の平均が約4・0㎡だったことから浅口市はほぼ平均である。

問 旧つごいの広場「のびっ子」の跡地利用については、検討を始めたところだというが、のびっ子の移転が決まったのは数か月前である。今になって検討が始まったのか。

教育次 7年に入ったくらいからいろいろ状況の調査はしている。施設に防火水槽が埋まっていたり、接道の状況であったり、確認し検討を始めている。

問 旧「のびっ子」の場所を公民館として活用はできるのか。この場所がどのようになり、その報告はいつなのか。

教育次

耐震基準を満たしていない施設であること。建築から55年以上経過していることなど、工事をするとかかなりの金額が見込まれる。また、公民館としての役割も改めて精査したうえで、中央公民館への集約の可能性も踏まえて、いろいろな角度から検討していく。

浅口市のこどもたちに対する取組について

問 猛暑に対する安全確保は。

教育次 体育祭や校外学習の実施時期を変更している。部活動終了後の体調確認やフールダウンを行った上で下校する取組も行っている。

問 徒歩で下校している子どもたちに、予算をつけ対策する必要があると思うが。

市長 昨今の猛暑はある意味災害である。今、全ての学校へ出向き具体的なことを聞いている。それを研究し、予算も含めできるだけ早く実施、具体的なものを進めていきたい。



早苗 ネネ



ネットリテラシーについて

問 小中学生のSNSの利用でどのような問題が生じているか。

教育次 ネットを介してゲームの中で友達とトラブルになったり、書いた内容が誤解されたなどのコミュニケーションに関する問題が生じている。

問 現場での具体的な取組は。

教育次 個人情報保護や誤情報の見極め方等を、発達段階に合わせて指導している。また専門家や警察などと連携した指導も行っている。

問 ネット依存への対策は。

教育次 子どもたちがネットを利用するのは学校以外の時間が大半で、学校と家庭との連携が非常に重要と考える。他人への配慮や問題を自分ごととして捉える判断力を養っている。

メディアリテラシーについて

問 市内のフリーWi-Fiの

利用可能な場所と拡充の計画は。

企財 現在は中央公民館等、7か所となっている。また、災害時に体育館を避難所として開設した場合、フリーWi-Fiを開放する。拡充は現時点では計画はない。

問 子どもたちが情報を主体的に学ぶには自ら情報をF・M・ラジオなどで発信する体験が重要だと思うが。

教育長 メディア機関による番組制作や発信の取組は、本物に触れる貴重な学びの機会にもなり、地域のメディアとも連携をして研究したい。

市長 誤情報や偏った情報から身を守るために、メディアの正しい活用や情報の取捨選択といった能力を養うことは大変重要で、子どもたちだけでなく市民皆様が安心して情報を有効活用しながら豊かな生活を営むための支援を行いたい。

Aーリテラシーについて

問 アメリカの大学や高校では卒業論文に生成AIの使用を禁止する動きも出ているが。

教育長 まずは教職員の公務での活用から研修を進めている。

令和7年度 浅口市議会 議会報告会

あさくち未来会議

あなたの声を聞かせて！
議員と一緒に浅口の未来を考えよう

4つのテーマでグループに分かれて話し合います

- ① 豊かな人生を届けるまちづくり
- ② 安心して快適なまちづくり
- ③ 持続可能なまちづくり
- ④ みんなで支え合うまちづくり

「もっとこうなったらいいな」「これってどうなってるの？」そんなあなたの想いや疑問が、浅口の未来をつくるヒントになります。まちの未来を議員といっしょに話しませんか？

金光会場 11月9日（日） 金光公民館
鴨方会場 11月16日（日） 浅口市健康福祉センター
寄島会場 11月16日（日） ふれあい交流館サンパレア

すべての会場とも時間は午前10時～11時30分です
※ 託児所もあります（生後6ヶ月～未就学児）。利用される方は鴨方会場へお越し下さい。（利用は無料です）

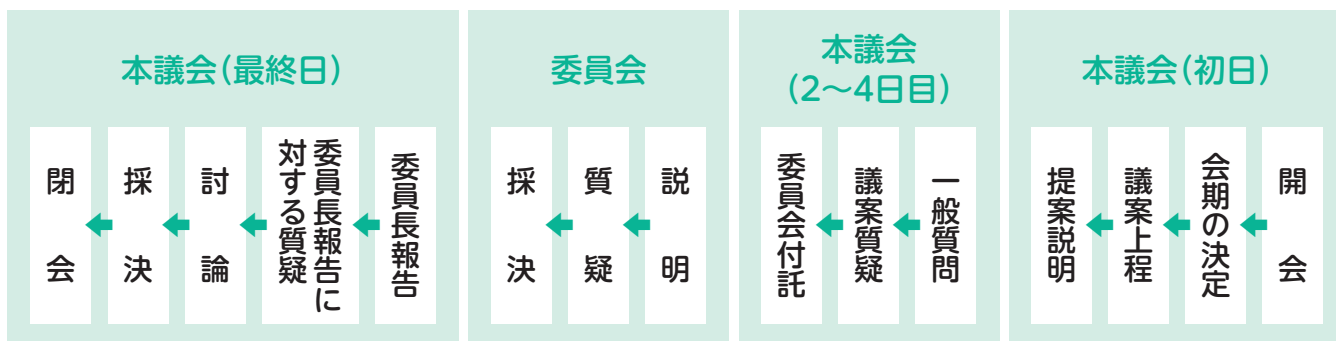
参加対象：浅口を愛する方ならどなたでも
（市外の方も大歓迎）

事前申し込みにご協力下さい。
当日参加もできます。

お問い合わせ・お申込み 浅口市議会事務局 電話：0865-44-7010 「未来会議」とお伝えください。

会議（定例会）の流れ

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開かれ、予算や条例等の市政を進めていく上で重要な事項を審議します。
会議の流れについての概要は、次のとおりです。



臨場感のある会議の
様子をみてみよう！



定例会を動画でチェックしよう！

スマートフォン・ タブレットからの視聴方法



QRコード

QRコードを読み込む

リンク先をクリック

読み取り内容
<https://www.city.asakuchi.lg.jp/site/asakuchishigikai/6652.html>



注！ カメラアプリで読み込むもの、QRコード専用アプリで読み込むものなど、機種によって方法は異なります。



かんたん！

ホームページ

からの視聴方法

市議会
ホーム
ページ

インターネットで
市議会ホームページを検索

「本会議録画中継」から
「会議名」をクリック



なお、配信している動画の

- 令和6年3月定例会
- 令和5年12月定例会
- 令和5年9月定例会

各議員の一般
質問が視聴で
きます！

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

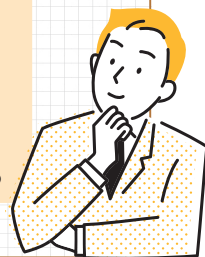
≡ 傍聴へお越しく下さい ≡

傍聴は、議会（定例会・常任委員会など）に触れることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽にお越しください。まず議会事務局で受付を済ませてお入りください。会議中、傍聴席へは自由に出入りできます。会議の詳しい日程は、ホームページ、あさくちメールやあさくちなび(ライフビジョン)などでお知らせします。

開催予定

- 総務文教常任委員会 11月4日(火)
- 民生常任委員会 11月5日(水)
- 産業建設常任委員会 11月6日(木)
- 議会運営委員会 11月25日(火)
- 12月定例会 12月2日(火)から

すべて午前9時30分開会予定です。



声

の議会だより



目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、**浅口はるか会**のご協力により議会だよりを音訳しています。

必要な方は社会福祉協議会へ

☎ 0865-44-7744

今月の表紙写真



鴨方中学校部活動の様子です。先輩や後輩、先生方と関わる機会が多い部活動は、中学校生活の中で貴重な体験ができる場所です。成功や挫折を重ねながら、仲間と共通の目標に向かって頑張っています。

